

災害派遣トイレネットワークプロジェクト

みんな元気になるトイレ

調布市

助けあいジャパン

被災時に深刻化するトイレ問題解決のため
調布市は「みんな元気になるトイレ」を導入します。
災害派遣トイレネットワークに参加し、
いざという時には、全国の参加自治体が駆けつけ
支援し合う、助けあいの仕組みに加わります。



※能登半島地震への災害派遣の様子

「クラウドファンディング」へのご支援のお願い

● 募集期間

令和6年9月1日（日）9:00～10月31日（木）23:00

● 目標金額

達成 / \ ネクストゴール挑戦中! /
800万円 → **1,200万円**

多くの皆様から御支援いただき、第一目標額を達成することができました。誠にありがとうございます。次の目標を1,200万円と設定し、引き続き実施しますので、御支援をお願いいたします。

● 寄附方法

社会問題解決に特化したプラットフォーム「READYFOR」を通じて寄附を募集します。

① <https://readyfor.jp/projects/mintore-chofu>にアクセス② **プロジェクトの寄付にすすむ** から進み、初めての方は **はじめて利用する方は新規登録へ** で登録後、ご寄附をお願いします。

※ 寄附方法（決裁方法）はお振込み、もしくはクレジットカードでのお支払いとなります。

災害時、トイレ問題が深刻化し、せつかく助かった命が危険を強いられます。

- 災害時、停電や断水等によりトイレが使えなくなり、圧倒的にトイレが不足します。
- 劣悪なトイレ環境→トイレ我慢→飲食我慢→体調悪化の連鎖となり、せつかく助かった命が危険にさらされます。
- 熊本地震では、災害死50人に対し、避難生活の心身負担で81人を亡し、直接の災害より避難で命を失いました。



出典：日本財団



能登半島地震 | トイレ状況



能登半島地震 | 避難所の様子

● 熊本地震：関連死の原因と人数

原因	人数
地震のショック、余震への恐怖による肉体的・精神的負担	112
避難所生活などの肉体的・精神的負担	81
医療機関の機能停止などによる初期治療の遅れ(転院、既往症の悪化など)	46
電気、ガス、水道などの途絶による肉体的・精神的負担	14
社会福祉施設などの介護機能の低下	9
交通事情などによる治療の遅れ	2
多量のじん灰の吸引	1
その他(家屋倒壊による外傷など)	15

※熊本県/震災関連死認定者への調査

導入するモビリティトイレ「みんな元気になるトイレ」とは？

① どこでも使える

4WD、寒冷地対策等、どこへでも移動ができ、給水・汚水タンクを備えているため、到着後すぐに使用することが可能です。

② 快適に使える

仮設トイレは幅90cmに対し、1.5mの広々サイズ。被災地では、お子様の着替え～お年寄りの付き添い、歯磨き、お化粧まで、レストルームとしての役割が必要です。

③ 誰でも使える

洋式の水洗トイレを備えた個室が5室、また最後部は、電動車いすリフター、オストメイト対応設備、おむつ交換台、ベビーキープを備えた多機能トイレ室となっています。

④ 停電でも使える

天井にソーラーパネルを設置、蓄電システムにより、停電時でも使用する電機は自転車でもかかない、周辺や室内を明るく、被災地の夜に安全・安心を届けることができます。

調布市独自の
デザインで作成中



災害派遣トイレネットワークとは？

仲間の自治体が被災した際、全国から駆けつけ、良質なトイレを支援し合う仕組み。



全国の自治体が1台ずつ配備し被災地に集結できたなら、災害時に深刻化するトイレ問題を大きく解消できるはず。という主旨に賛同し「みんな元気になるトイレ」を導入した自治体が参加するネットワーク。

今回の導入により、調布市が被災した際には、全国の参加自治体から支援を受けられることとなります。

- ネットワーク参加自治体：22
※2024年9月20日、1自治体が参加となり23自治体の予定
- みんな元気になるトイレ：84室 ※4台は3室仕様
- 対応トイレ回数：27,500回/日

災害派遣実績

- 活動開始：2018年
- 派遣箇所：12か所
- 累積支援日数：708日
- 利用者数：約54,300人
- 使用回数：約108,600回

平成30年7月豪雨 | 倉敷市 (2箇所)

- 2018年7月10日～2019年5月20日 | 10ヵ月
- 倉敷市立第二福田小学校 (避難所) 他1箇所



令和元年台風第15号 | 君津市 (3箇所)

- 2019年9月12日～10月2日 | 18日間
- 君津市文化ホール (避難所) 他2箇所



令和元年台風第19号 | 長野市

- 2019年10月18日～12月16日 | 60日間
- 長野市赤沼区公会堂 (ボランティア拠点)



令和元年台風第19号 | いわき市

- 2019年10月21日～11月27日 | 38日間
- いわき市立平野第四小学校 (現地対策事務所)



令和3年8月豪雨 | 大町町

- 2021年8月20日～12月1日 | 104日間
- 大町町災害ボランティアセンター



令和4年台風8号 | 松崎町

- 2022年8月15日～8月29日 | 15日間
- 松崎町災害ボランティアセンター-雲見ライト本部



令和5年九州北部豪雨 | 久留米市

- 2023年7月16日～
- 久留米市田主丸町 (被災地域)



令和4年台風15号 | 静岡市

- 2022年9月27日～10月27日 | 31日間
- 特別養護老人ホーム有度の里



令和4年台風15号 | 静岡市

- 2022年9月28日～10月3日 | 6日間
- 静岡市役所清水庁舎 (清水区役所)



令和5年九州北部豪雨 | 久留米市

- 2023年7月16日～9月27日 | 74日間
- 久留米市田主丸町 (被災地域)

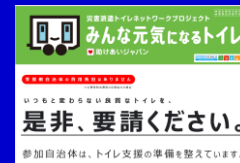
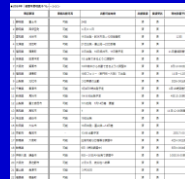


能登半島地震で被災した5自治体へ22台を派遣、延べ25万人・118万回のトイレ支援。 ネットワークの支援継続の仕組・サポートにより、現在も支援を継続中。

※2024年6月現在

●派遣調整

22自治体の担当者が個々に被災自治体に連絡をしてしまったら、混乱状態の被災地を、更に混乱させてしまいます。事務局が各自治体の出動態勢を把握、被災自治体とワンストップで派遣調整を行うことで、円滑な派遣を実現しています。



●情報共有

能登半島地震では、道路状況等の情報が一切ない中、1月2日に1台、翌3日に2台、4日には4台と、続々と能登半島へ災害派遣に入りました。先行自治体から後続へ次々に送られる情報を頼りに、最大限の安全配慮に努めることができ、22台30カ所への派遣を無事故で実施できました。



●補給支援

「みんな元気になるトイレ」は水が生命線。毎日、大量の水をもらう補水先の開拓～給水車確保、巡回ルート策定、昼夜問わずの給水活動等、補給チームがこれら任務を担い、絶やすことなく補給を続け支援継続を支えてきました。



●点検・補修巡回

能登半島地震の支援では、1台あたり5万回を超える使用となり各所に破損等が発生しました。約3週週間に一度、参加自治体が当番で全車を点検、翌週、点検結果をもとに修理事業者が補修に回ります。これも支援を止めない、継続に絶対に必要な活動です。



ふるさと納税型クラウドファンディング | ご支援のお願い

近年、災害は頻発化・激甚化の傾向にあり、その被害は深刻さを増しています。

調布市においても、万一ではなく、明日起きる大事として防災・減災事業に取り組んでおり、この度「みんな元気になるトイレ」の導入に至りました。災害時でも、個室化され、安全で、広く、清潔なトイレを市民の皆さまに提供することが可能になります。

また導入後に参加する「災害派遣トイレネットワーク」は、全国から参加自治体が駆けつけ合う助け合いのネットワークです。

「みんな元気になるトイレ」の配備が進めば進むほど、受けられる支援が増加していく仕組みであり、調布市もネットワークの強化に寄与したいと考えており、どうか「みんな元気になるトイレ」の導入資金として、ご支援の程よろしくお願いいたします。

●企業・団体様のご寄附について

- ① 損金算入による税控除が受けられます。
- ② 社名、商標を「みんな元気になるトイレ」後部に掲載いたします。
 - 御社名を背負い、平時のイベントや被災地支援に赴きます。
 - 100万円：60×8cm / 50万円：50×6.5cm の寄付をいただいた方は、商標等のデザイン掲載が可能です。
- ③ 10万円以上ご寄附いただいた場合、感謝状をお渡しします。

●個人のご寄附について

2,000円を超える部分について、一定の上限まで、原則として所得税、個人住民税から全額が控除されます。

本プロジェクトは、寄附総額が目標金額に届かなくても「みんな元気になるトイレ」導入事業を実施します。

ふるさと納税と同様に、実質負担2,000円でご寄附いただけます。

※ワンストップ特例制度を活用できます。（確定申告不要で寄附金控除を受けられる制度です。ふるさと納税先が1年間で5自治体以内であれば利用可能です。）

※詳しくは総務省ホームページをご確認ください。

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_zeisei/czaisei/czaisei_seido/furusato/mechanism/deduction.html

調布市民、調布市内企業・団体様のご寄附についても、上記同様の取扱いとなります。

掲載イメージ

● XXXL	: 60×8.0 →	100万円
● XXL	: 50×6.5 →	50万円
● XL	: 40×5.5 →	30万円
● L	: 30×4.5 →	10万円
● M	: 25×2.5 →	5万円
● S2	: 7×1.5 →	3万円
● S1	: 7×1.5 →	1万円

※単位: CM
※使用フォント(書体)
A-OTF UD新ゴ Pro | ウェイト(太さ): DB

商標デザインの掲載

商標（ロゴ）や社名デザインをお持ちの場合、カラーでの掲載が可能です。

大きな車体への印刷のため、下記指定データでのご提供が可能な団体様に限らせていただきますので、ご了承ください。

提供不可能な場合は、所定フォントでの掲載とさせていただきます。

● 掲載対象

50万円以上の寄付者様

● 提出期日

10月15日（火）

※期日を過ぎての御提出の場合は、所定フォントでの掲載とさせていただきます。

● データ形式

- ・データ形式：ai, eps
- ・解像度：300dpi以上
- ・カラープロファイル：CMYK

● 送付先

bousai@city.chofu.lg.jp

